

令和2年度 公共事業再評価調書

(区分) (国補) ・ 県単

1. 事業説明シート

事業名	治水事業 [統合一級河川整備事業 (国補)]		事業箇所	韮崎市龍岡町下條東割~大草町若尾	地区名	古川	事業主体	山梨県																																										
計画期間	当初計画 H3~H18	現計画 H3~R4	変更計画 H3~R7	(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																														
総事業費	1,870 百万円	2,900 百万円	3,099 百万円	①地域・住民の意向状況 バイパス水路の掘削による周辺井戸水への影響について、調査・観測 (水温、水質等) を行うよう、強く求められている。																																														
(1) 事業の概要				②産業・経済情勢 なし																																														
①事業目的及び効果 古川は、韮崎市南部の平坦地を流下する一級河川で、県道42号線 (旧国道52号) が隣接しており交通の利便性が良いため、沿川の宅地化が進んできている。 河川の現況は、計画流量30m ³ /sに対し、約4.0m ³ /sと15%程度の能力しか有していないため、平成23年の台風15号による降雨では、河道がほぼ満水状態となり、断面が狭小な区間では溢水し浸水被害が生じた。 このため、河道拡幅およびバイパス水路による治水安全度の向上を図り、氾濫を防止する。 (事前評価未実施) <input type="checkbox"/> 主要目標 ○洪水被害の防止 改修目標流量に対する現況流下能力の割合: 0.15 < 0.4※以下 浸水被害又は水防活動の実績: 有 想定氾濫区域内における災害発生時の影響: 有 ※評価基準値 <input type="checkbox"/> 副次目標 ○なし <input type="checkbox"/> 副次効果 ○被災時の被害波及の防止 ○身近な緑地・交流の場の提供				③国等の方針 なし																																														
②事業概要 50年に1度の割合で発生する洪水を河道で安全に流下できる改修を進める。 全体改修延長 L=2,680m 計画流量 30m ³ /s~10m ³ /s 治水安全度 1/50				④上位計画・関連事業計画等 ・「山梨県総合計画」(R元.12) ・「山梨県強靱化計画(改訂版)」(R2.3) ・「山梨県社会資本整備重点計画(第四次)」(R2.3)																																														
③全体計画				⑤自然環境条件等 なし																																														
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和元年度まで</th> <th>令和2年度 (評価実施年度)</th> <th>令和3年度以降</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">現計画</td> <td>護岸工: 4,560m 橋梁工: 16橋 取水堰: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式</td> <td>護岸工: 60m 橋梁工: 1橋 調査: 1式</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>事業費 2,745 百万円</td> <td>85 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">変更計画</td> <td>護岸工: 4,540m 橋梁工: 16橋 取水堰: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式</td> <td>護岸工: 60m 橋梁工: 1橋 調査: 1式</td> <td>護岸工: 760m 付帯水路工: 1式 分水工: 1基 調査: 1式</td> </tr> <tr> <td>事業費 2,729 百万円</td> <td>50 百万円</td> <td>320 百万円</td> </tr> </tbody> </table>					令和元年度まで	令和2年度 (評価実施年度)	令和3年度以降	現計画	護岸工: 4,560m 橋梁工: 16橋 取水堰: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式	護岸工: 60m 橋梁工: 1橋 調査: 1式		事業費 2,745 百万円	85 百万円	変更計画	護岸工: 4,540m 橋梁工: 16橋 取水堰: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式	護岸工: 60m 橋梁工: 1橋 調査: 1式	護岸工: 760m 付帯水路工: 1式 分水工: 1基 調査: 1式	事業費 2,729 百万円	50 百万円	320 百万円	⑥その他 なし																													
	令和元年度まで	令和2年度 (評価実施年度)	令和3年度以降																																															
現計画	護岸工: 4,560m 橋梁工: 16橋 取水堰: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式	護岸工: 60m 橋梁工: 1橋 調査: 1式																																																
	事業費 2,745 百万円	85 百万円																																																
変更計画	護岸工: 4,540m 橋梁工: 16橋 取水堰: 1基 用地補償: 1式 測量設計: 1式	護岸工: 60m 橋梁工: 1橋 調査: 1式	護岸工: 760m 付帯水路工: 1式 分水工: 1基 調査: 1式																																															
	事業費 2,729 百万円	50 百万円	320 百万円																																															
				(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]																																														
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成27年度再評価時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>2,900 百万円</td> <td>3,099 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H3~R4</td> <td>H3~R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>評価基準年</td> <td>H27 R2</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>3,429 百万円</td> <td>3,858 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>2,950 百万円</td> <td>3,293 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>479 百万円</td> <td>565 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>23,819 百万円</td> <td>29,274 百万円</td> </tr> <tr> <td>一般資産被害防止額</td> <td>8,442 百万円</td> <td>10,192 百万円</td> </tr> <tr> <td>公共土木施設等被害防止額</td> <td>14,238 百万円</td> <td>17,209 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>1,139 百万円</td> <td>1,873 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>B/C</td> <td>6.9</td> <td>7.6</td> </tr> </tbody> </table>					項目	平成27年度再評価時点	変更計画時点	総事業費	2,900 百万円	3,099 百万円	工期	H3~R4	H3~R7	経済効率性	評価基準年	H27 R2	費用	3,429 百万円	3,858 百万円	建設費	2,950 百万円	3,293 百万円	維持管理費	479 百万円	565 百万円	その他()	百万円	百万円	便益	23,819 百万円	29,274 百万円	一般資産被害防止額	8,442 百万円	10,192 百万円	公共土木施設等被害防止額	14,238 百万円	17,209 百万円	その他※	1,139 百万円	1,873 百万円		百万円	百万円	B/C	6.9	7.6
項目	平成27年度再評価時点	変更計画時点																																																
総事業費	2,900 百万円	3,099 百万円																																																
工期	H3~R4	H3~R7																																																
経済効率性	評価基準年	H27 R2																																																
	費用	3,429 百万円	3,858 百万円																																															
	建設費	2,950 百万円	3,293 百万円																																															
	維持管理費	479 百万円	565 百万円																																															
	その他()	百万円	百万円																																															
便益	23,819 百万円	29,274 百万円																																																
一般資産被害防止額	8,442 百万円	10,192 百万円																																																
公共土木施設等被害防止額	14,238 百万円	17,209 百万円																																																
その他※	1,139 百万円	1,873 百万円																																																
	百万円	百万円																																																
B/C	6.9	7.6																																																
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。				費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。 ※その他は、間接被害防止便益																																														
④特記事項 (関連事業概要等) ・なし																																																		
⑤これまでの評価状況 (平成27年度再評価) ・令和4年までに全区間の完成に努められたい																																																		

2.評価シート

(4) 評価項目【事業の進捗状況及び見込み】 ①これまでの計画変更等の概要 (平成22年度再評価) 公共事業関係予算の抑制により事業費の確保が困難となったこと、国道橋の架け替えに伴う仮設工事や取水施設整備等に費用を要したことにより、計画期間を平成29年度まで延長するとともに、総事業費を増額した。 (計画期間) 4年延長 (事業費) 420百万円の増 (平成27年度再評価) 現況の土地形状と法務局の地図表示が異なっていたため、地図訂正を行う必要が生じたことから、計画期間を令和4年度まで延長した。 (計画期間) 5年延長 ②進捗率 別表のとおり。 ③事業進捗が順調でない理由 バイパス区間は、H27年度の再評価以降に、新たに川を開削する工事であり、地域要望に応じ周辺井戸水への影響を観測し、注意しながらの作業となったこと、さらに、水田の農繁期である5月から10月までの工事を極力自粛しなければならなかったことから、工事の進捗に遅れが生じている。 ④今後の事業執行上の問題点 なし ⑤変更計画の進捗予定(期間) バイパス水路の掘削による周辺井戸水への影響がないような施工に努め、工期を3年延長し、令和7年度の完成を目指す。	⑥変更計画の変更内容(事業費)		
	変更工種等	事業費増減	変更理由
	井戸水調査・観測	78 百万円 増	バイパス水路の掘削による周辺井戸水(25箇所)への影響を調査・観測する必要が生じたため
	用地補償費	32 百万円 増	新たな既設埋設管の確認に伴う補償費用の増加
	工事費・設計費	89 百万円 増	物価や資材単価が上昇したため
	合 計	199 百万円 増	
	(5) 評価項目【環境負荷等への配慮】		
	バイパス計画により農地が分断される事から、橋梁工、掛樋(水路橋)を設置し取水等に配慮する。 生物の生育環境を確保し、良好な河川環境と水辺空間の形成確保に配慮する。		
	(6) 評価項目【コスト縮減の可能性】		
	なし		
	(7) 評価項目【代替案立案の可能性】		
	なし		
	(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他()		
	(理由) 浸水被害解消のため、事業期間を見直したうえで継続し、令和7年度の完成を目指す。		

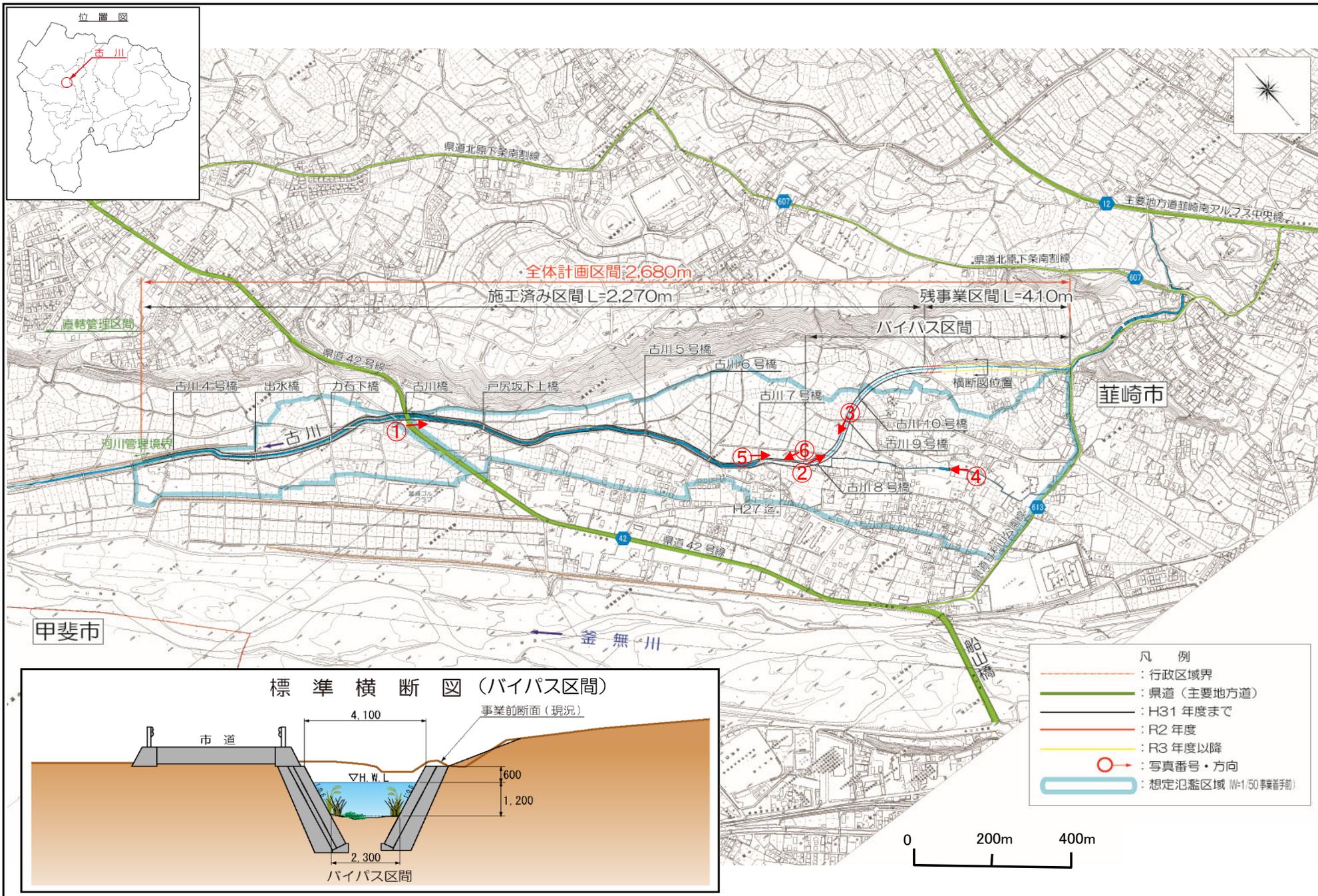
〇別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100

	年度	*H22	H23	H24	H25	H26	*H27	H28	H29	H30	H31	*R2	R3	R4	R5	R6	R7
現	計画	75%	78%	79%	79%	80%	81%	86%	89%	92%	95%	98%	99%	100%			
	実績	75%	78%	79%	79%	80%	81%	85%	89%	91%	94%	96%					
変更計画												90%	92%	95%	97%	99%	100%

*評価年度

3.添付資料シート(1)



3.添付資料シート(2)

■ 現況等写真

写真① 県道「古川橋」より上流の状況(改修後)取水堰に魚道を設置



写真③ 古川9号橋より下流の状況(改修後)



写真② 古川8号橋より上流の状況(改修後)



写真④ 上流部の工場間を流れる古川の状況(現況河道)



3.添付資料シート(3)

■ 現況等写真

写真⑤ バイパス起点付近 左：出水状況（改修前） → 右：現況河道（改修後）



■ 現況等写真

写真⑥ バイパス起点上流付近 左：出水状況（改修前） → 右：現況河道（改修後）



4. 年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H3	6,000	測試1式	0.2
H4	9,000	測試1式	0.5
H5	40,000	用地補償 1式	1.8
H6	60,000	用地補償 1式	3.7
H7	350,000	護岸工 L=250m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	15.0
H8	70,000	護岸工 L=60m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	17.3
H9	80,000	護岸工 L=80m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	19.8
H10	60,000	護岸工 L=90m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	21.8
H11	110,000	護岸工 L=480m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	25.3
H12	110,000	護岸工 L=140m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	28.9
H13	70,000	護岸工 L=120m	31.1
H14	80,000	護岸工 L=40m、橋梁工 1橋	33.7
H15	50,000	護岸工 L=50m	35.3
H16	90,000	護岸工 L=150m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	38.2
H17	182,000	護岸工 L=150m、橋梁下部工 1橋	44.1
H18	235,000	護岸工 L=270m、橋梁上部工 1橋、用地補償 1式	51.7
H19	168,000	護岸工 L=200m、橋梁工 1橋、取水堰 1基、用地補償 1式	57.1
H20	220,000	護岸工 L=600m、用地補償 1式	64.2
H21	150,000	護岸工 L=120m、用地補償 1式	69.1
H22	40,000	護岸工 L=200m、用地補償 1式	70.3
H23	90,000	護岸工 L=220m、橋梁工 1橋、用地補償 1式	73.2
H24	20,000	護岸工 L=140m、橋梁工 1橋、地図訂正	73.9
H25	10,000	地図訂正	74.2
H26	5,000	地図訂正	74.4
H27	47,000	用地補償 1式	75.9
H28	120,000	護岸工 L=360m、橋梁工1橋、調査1式	79.8
H29	100,000	護岸工 L=240m、橋梁工1橋、調査1式	83.0
H30	70,000	護岸工 L=320m、橋梁工1橋、用地補償1式、調査1式	85.3
H31	87,000	護岸工 L=180m、橋梁工1橋、調査1式	88.1
R2	50,000	護岸工 L=60m、橋梁工1橋、調査1式	89.7
R3	80,000	護岸工 L=280m、調査1式	92.3
R4	90,000	護岸工 L=360m、調査1式	95.2
R5	70,000	護岸工 L=120m、調査1式	97.4
R6	70,000	付帯水路工1式、分土工1式、調査1式	99.7
R7	10,000	調査1式	100.0
合計	3,099,000		